

高津区 地域デザイン会議 レポート #01

～若者目線の脱炭素アクションを考えよう～

開催日時

3月14日(月)

18:00～20:30

会場 オンライン (ZOOM ミーティング)

対象 高津区内在住・在学・在勤の若者、
高津区のまちづくりに関心のある若者



参加者のみなさんとの
記念写真

いろいろなアイデアが
出ました！

川崎市では、2050年の脱炭素社会の実現に向けて2020年11月に脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定し、2030年までの取り組みの一つとして高津区溝口周辺地区を脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」に指定しました。次世代を担う若い人たちならではの柔軟な感性で、脱炭素アクションのアイデア出しを行うとともに、若い人たちが区政に参加するきっかけをもってもらうため「地域デザイン会議」を開催しました。

プログラム

脱炭素アクションに関する取り組みの事例紹介

グループワーク

意見交換・まとめ

民間企業の事例紹介
無印良品
ノクティプラザ溝の口店
濱崎輝美氏

デンマークの事例紹介
ニールセン北村朋子氏

川崎市・高津区の事例紹介
環境局・高津区役所職員

グループワーク
脱炭素アクションのアイデア出し

発表・区長意見交換
まとめ

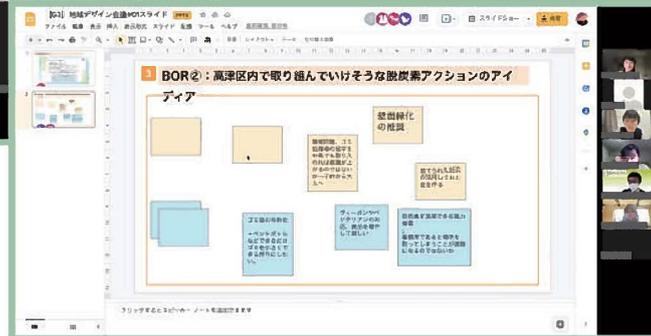
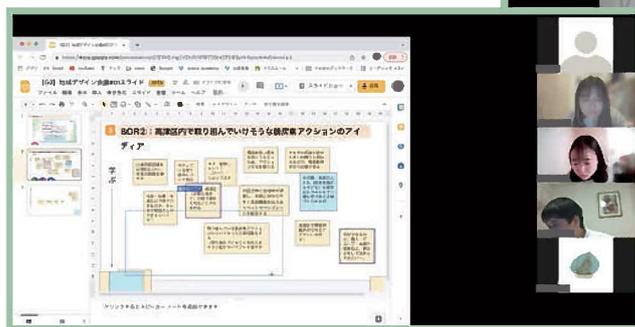
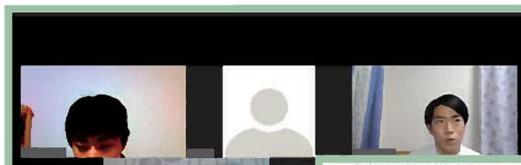
詳細は中面以降をご覧ください



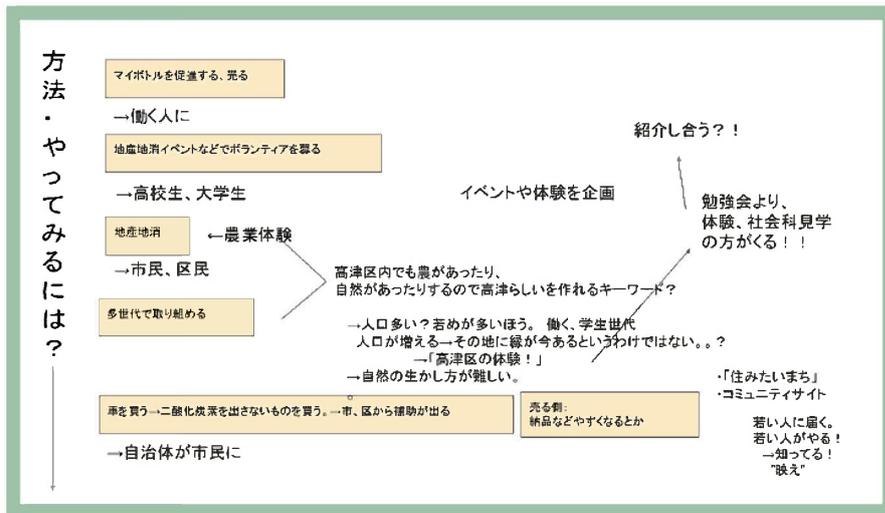
脱炭素アクションのアイデア

■ グループワークでは、それぞれのグループごとに「楽しんでできること」・「続けられること」・「高津区らしさ」など、キーワードを出し合いながら脱炭素アクションのアイデアが活発に飛び交いました。

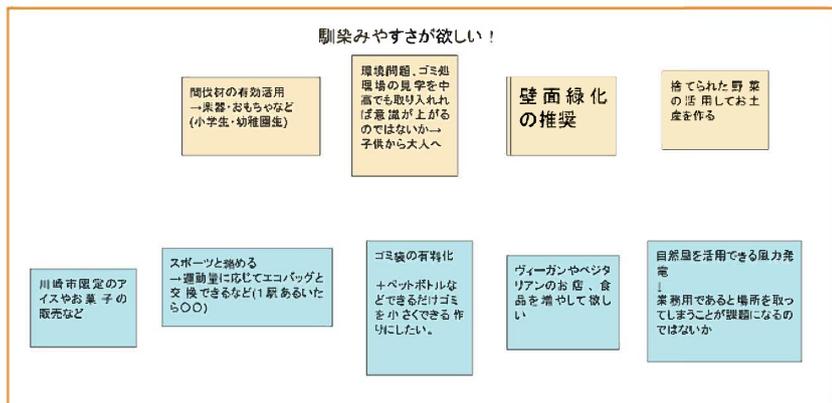
↓グループワークの様子 →



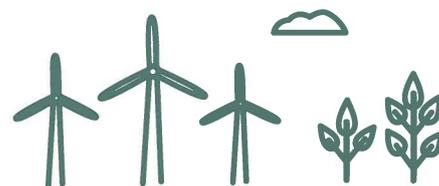
■ グループワーク後、各グループで話し合ったアイデアを発表し合い、全体に共有しました。「ごみを捨てる場所に楽しい仕掛けを」、「間伐材を使ったおもちゃ作りを通じて環境について学びたい」、「ごみ処理施設の見学を中高生でも行えば意識が上がるのでは」、「フロンターレと一緒にボランティアがやりたい」、「若い人を惹きつけるイベントを」といったさまざまなアイデアが出てきました。



3 BOR②: 高津区内で取り組んでいけそうな脱炭素アクションのアイデア



←↑の画像はグループワークで作成したスライド。短い時間で話し合いながらとてもよくまとめられていました！



ア創出に向けた意見出し



■ 発表を受けて、高津区長と意見交換。ニールセン北村朋子さんにもコメントをいただきました。

高津区長

- ・ 次世代を担う若い人にご参加いただけたことを頼もしく感じました。若い人のしなやかな感性を行政に活かしていくため、気軽に参加できるような手法を今後も探り入れていきたいと考えています。
- ・ どのコミュニティでも高齢化や担い手不足が進んでいます。フロンターレとの連携事例がワークショップで話題になっていたように、魅力的なこと、楽しいことが長続きのカギとなりますので、今後も若い皆さんから自由な発想でアイデアをお寄せください。

参加者の方

- ・ 高津区の脱炭素の取り組みに興味をもったので参加しました。若い世代の意見を行政に届けるのは難しいと思っていましたが、若い世代の意見が区政に反映される可能性を確かめることができました。今後もこのような場を継続して設けてほしいです。
- ・ 既存のコミュニティは役員の高齢化や活動自体が縮小していたりと課題があり、環境・SDGsの取り組みがなかなかできていないと感じています。
- ・ コロナ禍の中で、多くの若い人と新しいつながりが持てたことは非常にうれしい。今後は若者だけでなく、多世代で話し合う場もあるとよいのではないかと思います。
- ・ 参加している人が楽しくなるようなアイデア・仕掛けに関心があるので、このような機会があれば、今後もぜひ参加したいです。

ニールセン北村朋子さん

- ・ 活発に議論が行われて、面白いアイデアがたくさん出てきていたので、高津区の未来もすごく面白くなりそうです。これまでは我慢して環境問題に取り組むということも多かったですが、区長の話にあったように、楽しく取り組むことは、モチベーションとして非常に重要で、長く取り組もうという気持ちにもつながると思います。

主催：高津区役所

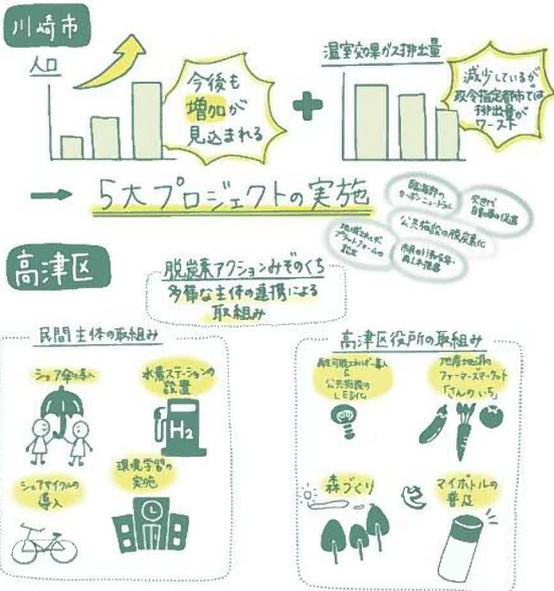


高津区 地域デザイン会議 #01

～若者目線の脱炭素アクションを考えよう～

2022年
3月14日

川崎市と高津区の脱炭素に向けた 取り組みと連携企業等について



高津区内で取り組んでいけるような 脱炭素アクションのアイデア



脱炭素アクションに関する取り組みの事例紹介

(無印良品 ノクティスラザ溝の口 濱崎輝美氏・ニールセン北村朋子氏)

脱炭素アクションみそのくち～ (株)良品計画の取組～

無印良品 ノクティスラザ溝の口

脱炭素アクション 考えたいこと 今からできること

私たち自身で
知る、考える、選ぶ、つながる



2022年3月14日
高津区地域デザイン会議#01
ニールセン北村朋子

事例紹介として無印良品の濱崎輝美さんとデンマーク在住のニールセン北村朋子さんにそれぞれで行なわれている取り組みについてご紹介いただきました。

主催:高津区役所



高津区 地域デザイン会議 #01

2022年
3月14日

～若者目線の脱炭素アクションを考えよう～



脱炭素アクションに向けた 無印良品の取組み

食品ロスの削減
～フードドライブの推進～

食品の回収
フードバンク提供
2021年度回収量 7800食分

リサイクルの取組み
～不要になった商品の回収～
日本国内向け商品の回収
70%再利用
2021年度回収量 20万9000枚

プラスチック削減の取組み
～給水機と水ボトル～
アルミ缶の飲料の削減
アルミ缶の98%はリサイクル!!

給水機の設置
～給水場所・環境への配慮～

～PET素材回収リサイクル～
PLA-PLUSプロジェクト
14880本の回収量
2021年度回収量 294kg

CO₂排出量の削減への取組み
～ごみ袋の工夫とごみの分別～
植物由来のプラスチック配合

無印良品
ノクティスラザ溝の口
濱崎輝美氏

脱炭素アクション 考えたいこと 今からできること

**ラン島って
どんなところ??**

風の発電
太陽光発電
森林公園

デンマークと日本の
エネルギー自給率の比較

| | |
|-------|-------|
| デンマーク | 57% |
| 日本 | 11.2% |

気候変動適応やSDGsは
「できるできない」ではなく
「やるかやらないか」

デンマークの考え方
「どんな国で
ありたいか?」
「何を
必要か?」
「教育を
実践」

デンマークには、
「小さい国であっても
自立したい!!!」
「みんなが思いあがる」。

日本は
「どんな国で
ありたいか?」

ラン島の
ごみの分別について

| | |
|-------|-------|
| 燃物 | 4.5% |
| 燃却 | 4% |
| リサイクル | 86.5% |

農業分野での
グリーンシフトについて

農業分野で
CO₂削減に
取り組んでいる

デンマークの
エネルギー生産に関する
取り組みの視点

全ての視点E

デンマーク ロラン島 居住
英生アロエター・アロエター
ニールセン
北村朋子氏

長谷川 沙貴

(川崎市・高津区の事例紹介)

川崎市

- 川崎市の特徴
- 川崎市地球温暖化対策推進基本計画から5プロジェクトの推進についてなど(公共施設の脱炭素化・次世代自動車の促進・地域エネルギープラットフォームの設立など)

高津区

- 脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみそのくち」での多様な主体と連携した取り組み
- 民間主体の取り組み (シェア傘の導入・環境学習の実施など)
- 高津区役所の取り組み (マイボトルの普及・健全な森づくりなど)